



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(非連結)

2025年11月7日

上場会社名 株式会社 テクノメディカ

上場取引所 東

コード番号 6678 URL <https://www.TechnoMedica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 中原 志郎

TEL 045-948-1961

半期報告書提出予定日 2025年11月12日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	4,104	0.3	266	12.6	294	1.4	203	8.4
2025年3月期中間期	4,116	1.5	304	41.8	298	44.0	221	41.1

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	29.31	—
2025年3月期中間期	32.06	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	16,558	14,149	85.5
2025年3月期	17,938	14,389	80.2

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 14,149百万円 2025年3月期 14,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	68.00	68.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	68.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,600	7.0	1,480	13.8	1,480	13.5	1,100	9.5	158.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	8,760,000 株	2025年3月期	8,760,000 株
-------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2026年3月期中間期	1,823,885 株	2025年3月期	1,831,712 株
-------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	6,929,404 株	2025年3月期中間期	6,919,493 株
-------------	-------------	-------------	-------------

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国経済は、米国の関税政策による輸出の減少や、実質賃金の伸び悩みに伴う消費者マインドの改善の遅れ等を背景に、景気は緩やかな回復に留まりました。

医療業界では、医療サービスの需要が一層高まる一方、医療施設の経営環境は、資材・光熱費の高騰や、医療現場の働き方改革に伴う勤務体制の見直しによる人手不足・人件費の増加などにより、極めて厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中で当社は、主力製品である採血管準備装置および関連システムについて一層の付加価値を追求し、各施設の検査業務の効率化に寄与するソリューションを提案してまいりました。検体検査装置に関しては、ハンディ型、デスクトップ型を取り揃えて拡販を続けてまいりました。消耗品等については、原材料費の高騰による影響を受けながらも、引き続き安定供給に努めてまいりました。また、医療施設向けの製品にとどまらず、一般ユーザーにも手軽に利用いただけるセルフモニタリング製品の開発・販売にも注力してまいりました。

この結果、当中間会計期間の売上高は4,104,407千円(前年同期比0.3%減少)となりました。国内市場における採血管準備装置・システムの売上が前年同期を下回ったことに伴い、売上高も前年同期をわずかに下回りました。なお、総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比0.1ポイント減少し17.0%となりました。

利益面に関しては、売上高の減少に伴い、売上総利益が1,956,894千円(前年同期比5.9%減少)となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費が前年同期を下回ったことなどにより、1,690,402千円(前年同期比4.7%減少)となり、営業利益は266,491千円(前年同期比12.6%減少)、経常利益は294,334千円(前年同期比1.4%減少)、中間純利益は203,105千円(前年同期比8.4%減少)となりました。

<品目別の販売状況>

・採血管準備装置・システム

当中間会計期間における採血管準備装置・システムの売上高は1,099,141千円(前年同期比4.6%減少)となりました。国内市場においては、大規模施設向けの機器・システムの売上が前年同期より少なかったことにより、売上高は895,467千円(前年同期比8.3%減少)であった一方、海外市場においては、主に東南アジア地域における売上が前年同期を上回り、売上高は203,674千円(前年同期比16.0%増加)となりました。

・検体検査装置

当中間会計期間における検体検査装置の売上高は290,610千円(前年同期比2.0%減少)となりました。国内市場では、血液ガス分析装置・電解質分析装置の売上がやや持ち直し、国内市場の売上高は162,669千円(前年同期比9.3%増加)となった一方、海外市場では、中東地域を中心にアジア市場における売上が前年同期を下回り、127,941千円(前年同期比13.3%減少)となりました。

・消耗品等

当中間会計期間における消耗品等の売上高は2,714,655千円(前年同期比1.7%増加)となりました。国内市場では安定した需要が続き、売上高は2,350,360千円(前年同期比2.8%増加)となった一方、海外市場での売上高は、検体検査装置の売上減に伴って同時に販売する消耗品の売上も減少したことから、364,294千円(前年同期比4.6%減少)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末の総資産の残高は16,558,595千円となり、前事業年度末比1,380,023千円減少しました。これは主に、商品及び製品が324,813千円増加した一方、売掛金が1,268,830千円減少、現金及び預金が253,390千円減少、電子記録債権が215,018千円減少したことによるものであります。

当中間会計期間末の負債の残高は2,408,846千円となり、前事業年度末比1,140,709千円減少しました。これは主に、前受収益が19,020千円増加した一方、買掛金が884,526千円減少、未払金が149,771千円減少、前受金が121,982千円減少したことによるものであります。

当中間会計期間末の純資産の残高は14,149,748千円となり、前事業年度末比239,314千円減少しました。これは、配当金の支払いが471,123千円、自己株式の減少33,470千円があったほか、中間純利益が203,105千円であったことによるものであります。なお、自己資本比率は85.5%となり、前事業年度末比5.3ポイント増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、8,807,997千円(前事業年度末比253,390千円減少)となりました。なお、当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当中間会計期間において、営業活動により得られた資金は269,531千円(前年同期比1,157,261千円減少)となりました。これは主に、売上債権の減少額が1,491,242千円であった一方、仕入債務の減少額が884,526千円、棚卸資産の増加額が443,940千円であったことによるものであります。

当中間会計期間において、投資活動により支出した資金は52,305千円(前年同期比43,475千円増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が46,061千円であったことによるものであります。

当中間会計期間において、財務活動により支出した資金は470,616千円(前年同期比996千円増加)となりました。これは、配当金の支払額470,616千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日付の2025年3月期決算短信で発表した2026年3月期の業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,061,387	8,807,997
受取手形	32,705	25,312
電子記録債権	589,237	374,218
売掛金	3,282,566	2,013,736
商品及び製品	2,182,141	2,506,954
仕掛品	235,389	349,674
原材料及び貯蔵品	189,853	194,696
前払費用	49,815	63,516
未収消費税等	48,805	17,261
その他	6,398	2,802
流動資産合計	15,678,302	14,356,169
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,281,294	1,281,294
減価償却累計額	△795,964	△816,085
建物(純額)	485,330	465,209
構築物	5,042	5,042
減価償却累計額	△2,769	△2,840
構築物(純額)	2,273	2,202
機械及び装置	354,269	368,569
減価償却累計額	△272,363	△282,216
機械及び装置(純額)	81,905	86,352
工具、器具及び備品	338,083	337,971
減価償却累計額	△299,429	△304,675
工具、器具及び備品(純額)	38,653	33,296
土地	787,326	787,326
建設仮勘定	8,602	19,754
有形固定資産合計	1,404,091	1,394,141
無形固定資産		
電話加入権	1,177	1,177
特許権	405	289
ソフトウェア	58,176	54,224
無形固定資産合計	59,759	55,691
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
長期前払費用	220,541	176,114
繰延税金資産	465,776	466,181
その他	102,637	104,766
貸倒引当金	-	△1,980
投資その他の資産合計	796,466	752,591
固定資産合計	2,260,316	2,202,425
資産合計	17,938,618	16,558,595

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,575,520	690,994
未払金	284,837	135,065
未払費用	95,391	94,869
未払法人税等	94,036	100,543
前受金	894,668	772,685
預り金	10,343	12,871
前受収益	107,691	126,712
賞与引当金	196,290	194,544
役員賞与引当金	14,625	-
その他	1,759	2,265
流動負債合計	3,275,163	2,130,552
固定負債		
退職給付引当金	239,246	243,147
その他	35,145	35,145
固定負債合計	274,392	278,293
負債合計	3,549,555	2,408,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	996,162	991,395
利益剰余金	16,265,084	15,997,065
自己株式	△3,941,983	△3,908,512
株主資本合計	14,389,063	14,149,748
純資産合計	14,389,063	14,149,748
負債純資産合計	17,938,618	16,558,595

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,116,955	4,104,407
売上原価	2,038,425	2,147,513
売上総利益	2,078,530	1,956,894
販売費及び一般管理費	1,773,727	1,690,402
営業利益	304,802	266,491
営業外収益		
受取利息	751	8,267
受取配当金	0	0
為替差益	-	10,312
受取賃貸料	4,559	4,712
受取保険金	-	10,000
その他	1,365	1,592
営業外収益合計	6,677	34,885
営業外費用		
為替差損	12,898	-
遅延損害金	-	6,559
その他	-	483
営業外費用合計	12,898	7,042
経常利益	298,581	294,334
特別損失		
固定資産除却損	-	26
特別損失合計	-	26
税引前中間純利益	298,581	294,307
法人税、住民税及び事業税	75,173	91,607
法人税等調整額	1,561	△404
法人税等合計	76,734	91,202
中間純利益	221,846	203,105

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	298,581	294,307
減価償却費	49,131	47,467
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,873	3,900
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,160	△1,746
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△12	-
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,250	△14,625
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	1,980
有形固定資産除却損	-	26
受取利息及び受取配当金	△751	△8,267
売上債権の増減額(△は増加)	2,140,364	1,491,242
棚卸資産の増減額(△は増加)	△274,555	△443,940
仕入債務の増減額(△は減少)	△503,746	△884,526
その他の資産の増減額(△は増加)	15,882	93,030
その他の負債の増減額(△は減少)	△345	△234,710
小計	1,723,331	344,140
利息及び配当金の受取額	751	8,267
法人税等の支払額	△297,291	△82,877
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,426,792	269,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,134	△46,061
無形固定資産の取得による支出	-	△5,655
差入保証金の差入による支出	△2,298	△2,657
差入保証金の回収による収入	2,604	2,069
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,829	△52,305
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△469,620	△470,616
財務活動によるキャッシュ・フロー	△469,620	△470,616
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	948,342	△253,390
現金及び現金同等物の期首残高	8,586,360	9,061,387
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,534,702	8,807,997

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)及び当中間会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

当社は、医療機器及びこれら装置で使用する消耗品の製造、販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。